

けやき

Vol.31**2022.10**発行/宝塚さざんか福祉会
宝塚けやきの里

地域のサロンでも活動開始

ついに「あくら和！輪！わハウス」のプログラムの1つとして、「けやきの日」が実現しました。

「あくら和！輪！わハウス」とは、近隣の「安倉西4ローズ自治会」「セキスイ住宅自治会」「安倉宝和自治会」の3つの自治会が運営する地域のサロンです。場所は、DCM ダイキの裏手辺りにあり、住宅街の一軒家を利用されています。そこでは、地域のつながりを深めるために様々なプログラムが提供されています。コロナ禍以前は、「お茶会」や「カレーの日」も実施されており、年間1800人近くの方が利用されていたそうです。

7月号に掲載させていただいていた「絵てがみ作り」も、この「あくら和！輪！わハウス」のプログラムの1つでした。他にも、布遊びやパソコン教室、100歳体操など、気楽に参加できるプログラムを企画されています。



このような活動を通して、地域の方と顔の見える関係作りを深めていき、気軽に挨拶が交わされるようになっていきたいと思います。



これまで前任の所長 脇田がつながりを深めてくださっており、今年度より引き継がせていただく中で、けやき主催のプログラムを実施できる運びとなりました。

内容としては、施設で実施している制作活動を基にして、季節にあった小物作りなどを行います。記念すべき第1回は10月11日で、花飾りを作りました。



ちなみに、この花飾りは、ぷらざこむで開催されていた「すべての人の作品展～共に感じる～」にも展示させていただきました。

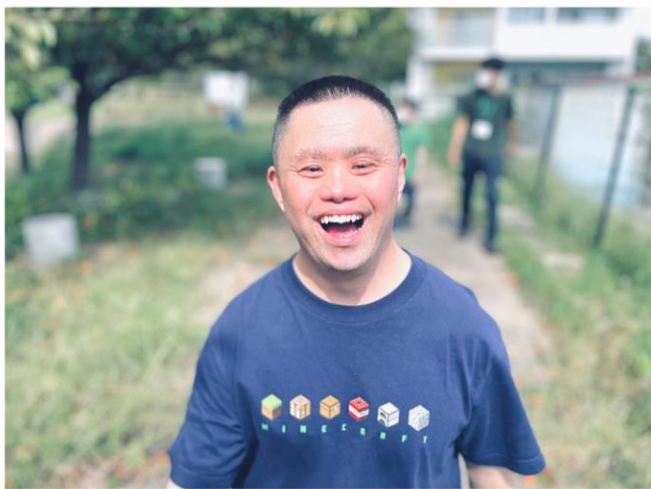
所長 福田 加奈子

今月のトピックス

実習生とともに

9～10月にかけて前回6～7月に続き、ソーシャルワーク実習生の受け入れを行いました。ソーシャルワーク実習について、その内容は多岐にわたりますが、個別のアセスメントやプランニング、モニタリング等も含まれます。勿論実習としての体験である為、疑似的ではありますが、可能な範囲でケースワークのプロセスを一通り、順を追って学んでいきます。

今回詳しい内容は割愛しますが、実習生と利用者の関わりの様子を少しだけ掲載させていただきます。



ちなみに年度内11～12月にかけてもソーシャルワーク実習生の受け入れを予定しております。

利用者の皆様が笑顔になり、実習生にとっては楽しみながらの学びの機会となるよう、創意工夫しながら引き続き尽力して参ります。

編集後記

私事ですが、5歳の息子が家庭での夕食時に話した内容に、幼稚園の給食で苦手なメニューをあえて大盛にしてもらったようです。わけを聴くと、「苦手やけどがんばるねん。」とのこと。息子の前向きな姿勢に心を打たれ「お父ちゃんも仕事大盛にしてもらおうわな！」と言いかけた矢先に、目の前の夕食の苦手なメニューを残そうとする息子でした。

そんな私のご飯は毎回、日本昔ばなしのようです。



主任・サービス管理責任者 片山 翼

社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会 宝塚けやきの里

〒665-0825 兵庫県 宝塚市 安倉西4丁目1番1号 TEL:0797-81-9161 FAX:0797-81-9162

e-Mail: keyakinosato@sazankafukushi.com HP: <http://www.sazankafukushi.org/>

